

団体競技「徒手」規則（2021年愛知県特別ルール）

【総則】 原則として、2017-2020年（財）日本体操協会新体操競技規則を基本とし、第21回全日本新体操クラブ団体の採点規則に準ずる。

【難度の数とレベル】 団体演技には以下の難度が含まれなければならない。

	難度	数	価値
D1	身体難度	最低3個・最高7個	各身体難度の価値
		左右なし ジャンプ・バランス・ローテーション全員で各1個以上行うこと。 サブグループは2個まで可能	
	ダンスステップコンビネーション	*ステップ中はステップのみの動きにする 最低3個	0.3
D3	連係	最低4個	
		足をフロアについたままパートナーの間や下をくぐり抜ける	0.1
		膝より下にいるパートナーの上を通過する	0.1
		膝より上にいるパートナーの上を通過する	0.2
		アクロバットを入れて膝より下にいるパートナーの上を通過する	0.3
		アクロバットを入れて膝より上にいるパートナーの上を通過する	0.4
		腰より上に持ち上げるリフト ※1回のみ ※リフトのみ他の連係の加点と合わせることができる。	0.5

【点数の配分】

得点		
(D) 難度	(E) 実施	
難度の加算点 (D1+D3)	10.00点	
(例) 全て価値0.2の価値を行った場合 $0.2 \times 7 \text{ 個} = 1.4$ ダンスステップコンビネーション $0.3 \times 3 \text{ 個} = 0.9$ 選手間の連係 $0.1 + 0.2 + 0.1 + 0.5 = 0.9$ 合計 3.2点	芸術的欠点 (E1) ・アイデアのガイド 特徴・フォーメーション ・リズム ・ダイナミックな変化 ・身体の実現 ・多様性 フォーメーション 共同作業 連携 方向	技術的欠点 (E3) ・身体の動き 総則 基礎技術 ジャンプ バランス ローテーション プレアクロバット 同時性 フォーメーション

◆構成の減点表

	難度	最低/最高	減点 0.30
D1	身体難度、 選手が実施した順に	最低3個	・各身体グループが1難度より少ない 不足の各身体難度に対して減点 ・各身体グループから1難度が5名全ての選手により同時（または素早い連続にて：サブグループではなく）実施されていない ・3個より少ないBDの実施
	ダンスステップコンビネーション	最低3個	最低3個が不足
D3	連係	最低4個	最低4個が不足

◆実施の減点表

2017-2020年（財）日本体操協会新体操競技規則に準じる